

## M.S 研究機関勤務/技術職

### 佐賀大学大学院

#### 農学研究科卒

修士課程では、学士課程のみでは経験出来なかったことをたくさん経験することが出来ました。そう感じた理由には、学士課程の4年間の半分が新型コロナウイルス感染症の流行により、さまざまな行動が制限され、大学生活の間で経験するはずだったことを経験できずに過ごすことになったということが大きくあります。しかし、そんな中、修士課程に進学し、学士課程よりさらに学業において力を入れることができました。例えば、学士課程では、研究内容を学会でオンライン発表する機会がありました。しかし、修士課程ではそれだけでなく、まとめた研究内容を学会和文誌に投稿したり、対面での学会発表なども経験出来ました。その他、1学年下の後輩のみならず3学年下の後輩まで指導したり、より多くの研究室メンバーと交流、議論を交わしたりなど修士課程ならではの経験ができたと思います。

また、大学院を卒業し、現在は企業で働いていますが、そこでは学生時代に養えず、自分に足りなかったことを見つけることが出来ました。それが期間を決めて物事に取り組むということです。学生時代は、夜まで研究をおこなったり、家でも研究課題に取り組んだりなど、期限そのものは決まってはいましたが、時間を自由に使って自分の納得のいくところまで詰めることが出来ていました。しかし、働くということは、基本的に就労時間によって見返りにお金をもらうことになり、その時間が決まっています。基本的に業務は、定時の間に終わらせなければなりません。しかし、入社後半年が過ぎましたが、仕事内容がルーティンワークでないこともあって、未だに定時まで作業が終わらないということが多々あります。自分が行う作業であっても、何分で作業が出来るのか、まだ見当がつかず、時間配分が難しいと感じます。如何に効率よく業務をこなしていくことが大事かというものを身に染みて学んでいるところです。周りの先輩方はそんな私を私自身がきちんと成長できるように、サポートをして下さるのでとても働きやすい環境ではあります。そんな中、これから働いていく上で大事にしたいと考えていることは、ただ淡々と業務をこなしていくのではなく、向上心を持ちさまざまなことを吸収していくこと、さらには周りにアウトプットを積極的にこなしていくことを忘れずに、これから頑張ろうと思いました。